

1. 研究課題名

新型コロナウイルス感染症まん延下における救急外来滞在時間の変化と、それに影響を与える因子同定のための研究

2. 試料・情報

(1) 利用目的

本研究は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、救急医療体制に大きく影響を及ぼし、救急受診ならびに救急搬送受け入れの制限が生じた状況の本質を検証する上で、「救急外来の混雑」指標として一人当たりの診療時間（救急外来滞在時間）に注目して新型コロナウイルス感染症拡大前・後ならびに2023年5月以降「5類化」変更以降の時期で比較検討することを目的とする。

(2) 利用項目、提供方法

本研究は、以下の4つの観察機関における全国の救命救急センターならびに2次救急医療機関の後ろ向き（過去事実）調査を実施する。

- ① 新型コロナウイルス感染症拡大前の2019年5月/1か月間
- ② 新型コロナウイルス感染症拡大・初期の2020年5月/1か月間
- ③ 新型コロナウイルス感染症拡大・後期の2022年5月/1か月間
- ④ 新型コロナウイルス感染症の5類感染症への分類変更後の2023年5月以降/1か月

調査で収集する内容は以下の項目

- ・来院方法（ウォークイン、救急車） ・年齢 ・性別
- ・入院前に実施した検査の有無・種類（コロナ抗原検査、レントゲン、採血）
- ・患者受診後の転帰（入院/帰宅） ・救急外来滞在時間（受付から転帰まで）
- ・受診時間（勤務帯）
- ・受診時の救急外来スタッフ数（救急医・研修医・看護師・救急救命士）
- ・受診時における個人防護具の装着内容
- ・受け入れ時期における「クラスター（院内感染拡大等）の発生有無
- ・そのほか、外来滞在時間の延長に影響しうる事項

利用を開始するのは、本研究が承認された日以降です。

本研究は多機関共同研究（研究代表者：大友康裕 所属：災害医療センター）であり、当センター（院長 中島淳）は災害医療センター（研究代表者：大友康裕）に、【診療記録から得られた情報】を提供します。その際、個人を識別できる情報は削除いたします。提供を開始するのは、本研究が承認された日以降です。

(3) 利用する者の範囲

日本赤十字社医療センター 救命救急センター 林 宗博 (研究責任者)

(4) 管理責任を有する者の名称

日本赤十字社医療センター

3. 参加を希望されない場合等

本研究への参加を希望されない場合や本研究参加についてのご相談がある場合は、以下へご連絡ください。本研究への参加を希望されない場合でも、不利益を被ることはありません。

4. 問い合わせ先

日本赤十字社医療センター

〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22

TEL : 03-3400-1311 FAX : 03-3409-1604

担当 : 救命救急センター 林 宗博